

事業シート(令和3年度予算)

事業名	41500 生活環境保全事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
			項	1	保健衛生費		根拠計画		環境基本計画	
			目	5	生活環境費					
担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2172							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な生活環境を確保する。 公害の発生防止、公害が発生した場合の被害の最小化 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する。 騒音、振動、悪臭苦情に係る立入検査を随時実施する。 騒音の定期観測調査を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	4,030	3,670	3,485			
特定財源						
国費()						
県費(県移譲事務交付金、公害委任事務費)	294	328	284			
その他()						
一般財源	3,736	3,342	3,201			
個票枝番	主な事業内容					
	ポイ捨て等及び路上喫煙禁止の啓発	600	571	560		
	河川水質の定期調査	1,150	1,034	1,100		
	公害防止のための悪臭水質立入調査	770	545	500		
	土壌中放射性物質調査	700	763	710		
	快適環境づくり市民会議	480	193	320		
	自動車騒音常時監視に係る騒音調査及び面的評価(5年毎)					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		3,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
7,959	6,535	6,535	3,050	
330	269	269	△ 15	
7,629	6,266	6,266	3,065	
査定額	説明			
560				
1,100				
500				
710				
320				
※				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施(41事案)と騒音の観測調査を実施した。(3か所) 水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視(19地点)及び河川環境保全の啓発を行った。 大気汚染及び水質汚濁防止啓発活動を強化する。 高山市快適環境づくり市民会議の活動を推進した。(グリーンマーケット(1回)、クリーン作戦(2回)の実施)
評価等	引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 公害防止に対する市民の意識向上のため啓発を行うとともに、公害苦情に対して関係機関と連携し、適切に対応する。 大気汚染及び水質汚濁防止啓発活動を強化する。 長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 快適環境づくり市民会議の活動推進、ポイ捨てや路上喫煙禁止の啓発による快適環境の保全に必要な経費を計上 河川水質や放射性物質等の監視に必要な経費を計上 公害発生防止のため、悪臭や水質汚濁の立ち入り検査に必要な経費を計上 自動車常時監視に係る騒音調査に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度予算)

事業名	42200	ごみ収集事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
				款	4	衛生費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
				項	2	清掃費		根拠計画		環境基本計画、ごみ処理基本計画	
				目	2	塵芥処理費					
担当課	環境政策部	生活環境課	ごみ処理場建設推進室	内線	2960						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 市の分別ルールによって出されたごみなどを適正に収集運搬する。 家庭や事業所から排出されるごみの減量化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ごみの出し方と分別意識の向上を啓発する。 ごみ処理券回収奨励金を交付し、ごみの減量化を図る。 市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を適正に実施する。 不適正処理(不法投棄・違反ごみ等)対策を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
家庭ごみ(資源ごみを除く)の1人1日当たりの排出量	500g		462g
「ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている」と感じている市民の割合	84.2%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	331,636	321,252	330,520			
特定財源						
国費(景観改善推進事業費1/3)						
県費						
その他(手数料・諸収入)	20,190	23,151	20,690			
一般財源	311,446	298,101	309,830			
個票枝番	主な事業内容					
	ごみ収集運搬業務	312,880	302,923	315,520		
	ごみ収集パトロール	3,656	3,656			
	無料可燃ごみ処理券回収報奨金	2,400	2,400	2,400		
	ごみ処理券・ごみカレンダー等の作成	10,000	10,206	10,400		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		330,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
366,765	339,960	339,960	9,440	
	700	700	700	
21,530	20,690	20,690	0	
345,235	318,570	318,570	8,740	
査定額	説明			
322,170				
2,400				
11,150				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化及び出し方と分別の啓発を行った。(啓発用冊子2,500冊作成、広報9回掲載) ごみ処理券回収奨励金を交付した。(62件、329,345枚回収) 市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を実施した。(実施日数255日) ごみステーションに置かれた違反ごみを回収した。(随時) 不法投棄対策を実施した。(パトロール延べ70日、通報等による出動24件) 市内スーパーで、ごみ減量啓発(水切り袋とチラシ配布)を行った。(約1,800人)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 可燃ごみ中のプラスチック製容器包装等の資源ごみの混入防止対策及び食品ロス削減施策の推進などにより、増加傾向にある可燃ごみの減量化対策を強化する必要がある。 違反ごみや不法投棄は依然として発生しているため、不適正処理対策を継続して実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化に向けた具体的な対策(特にプラスチック製品及び食品ロスの削減)を実施する。(開封調査等) 委託事業者の収集時におけるパトロールの実施や不法投棄パトロールによる不適正処理の未然防止策を実施する。 広報等によりごみの不適正処理防止やごみの減量、分別方法の啓発を行う。 人口減少、少子高齢化、空家増加など社会情勢や生活様式の変化に即したごみの分別や収集方法を検討する。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量化及び資源化の推進に必要な経費を計上 適正な収集運搬に必要な経費を計上 監視パトロールの実施による不法投棄防止対策に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度予算)

事業名	42240 資源化推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
			項	2	清掃費	根拠計画	環境基本計画、ごみ処理基本計画			
			目	2	塵芥処理費					
担当課	環境政策部 生活環境課 ごみ処理場建設推進室	内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や事業所から排出されるごみの減量化及び資源化を図る。 排出された粗大ごみ等を再使用し、ごみの減量化を図る。 資源の循環により循環型社会の形成を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化装置設置に対し補助する。 粗大ごみ等のリフォーム及びびりフォーム製品フェアを開催する。 ごみの出し方と分別及び資源化の啓発並びに資源ごみの集団回収の奨励を行う。 資源ごみの収集運搬選別及び施設の適正な稼働を行う。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
家庭系ごみの資源化率	28%		30%

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		168,553	160,491	187,543			
特定財源	国費()						
	県費(産業廃棄物立入検査事業費)	10	1	10			
	その他(物品売払収入等)	12,400	35,396	12,600			
一般財源		156,143	125,094	174,933			
個票枝番	主な事業内容						
	資源回収団体奨励金	10,000	6,741	8,000			
	資源リサイクルセンター施設の維持管理	14,353	14,033	15,243			
	廃棄物資源化の委託	139,300	135,421	159,700			
	不用品リフォーム	3,900	3,893	3,900			
	家庭用生ごみ堆肥化装置設置に対する助成	1,000	403	700			

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		186,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
233,627	208,313	208,313	20,770	
6	10	10	0	
14,104	13,000	13,000	400	
219,517	195,303	195,303	20,370	
査定額	説明			
8,000				
14,493				
181,220				
3,900				
700				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化装置設置補助金を17件交付し、ごみの出し方と分別及び資源化の啓発を実施した。 リフォーム製品フェアを19回(支所開催含む)開催し、324個を販売した。 小型家電を収集し、処理施設(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)で受け入れた。(330t) 資源回収事業での奨励金を78団体に交付した。 収集したごみを選別・圧縮・減容等により資源化するとともに、拠点集積所を適正に管理した。(52日開設)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 缶や不燃ごみから回収した鉄類などの有価物を売却し、財源の確保に努めた。 びん等の容器包装の軽量化や、集団資源回収量の減少などが見られる反面、小型家電の回収や民間事業者による資源物回収により、資源ごみの量は維持されている。 リフォーム製品フェアの開催は高山地域及び全支所地域で行っており、一定の周知が図られている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化や資源化推進のため、家庭における生ごみ処理の促進、資源回収並びに分別等の啓発を継続して実施する。 不燃ごみから鉄類などを選別し、資源物回収に努める。 民間企業による資源物回収量の把握に努める。 市内全域でのリフォーム製品フェアの開催並びにそのPR活動を継続して実施する。 プラスチック製容器包装や紙製容器包装の分別徹底を周知する。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量化及び資源化に必要な経費を計上 資源ごみの適正な収集、選別作業に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに